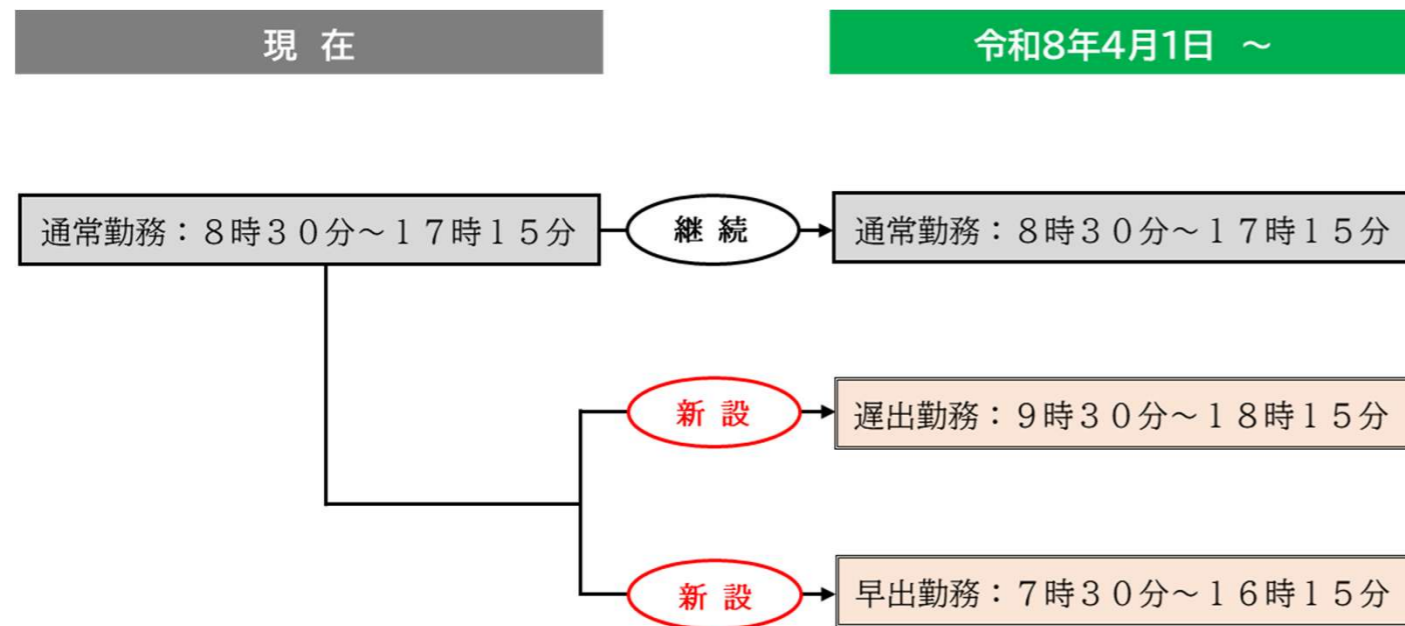


本市職員による時差通勤の実施について

1. 時差通勤の実施概要 ※市役所の開庁時間は変更なし

- 令和8年4月1日より、市民の快適な移動手段を確保するための交通渋滞対策の一つとして、市職員による時差通勤を実施する。
- 主に自家用車・単車通勤の職員を中心に、1時間早い早出勤務と1時間遅い遅出勤務を実施することにより、朝夕のピーク時における交通量の分散を図る。



2. 試行運用の概要

- 令和7年10月の1か月間、時差通勤の試行運用を実施した。試行運用の対象課である52課の内、早出勤務が206人、遅出勤務が168人、計374人の職員が参加した。

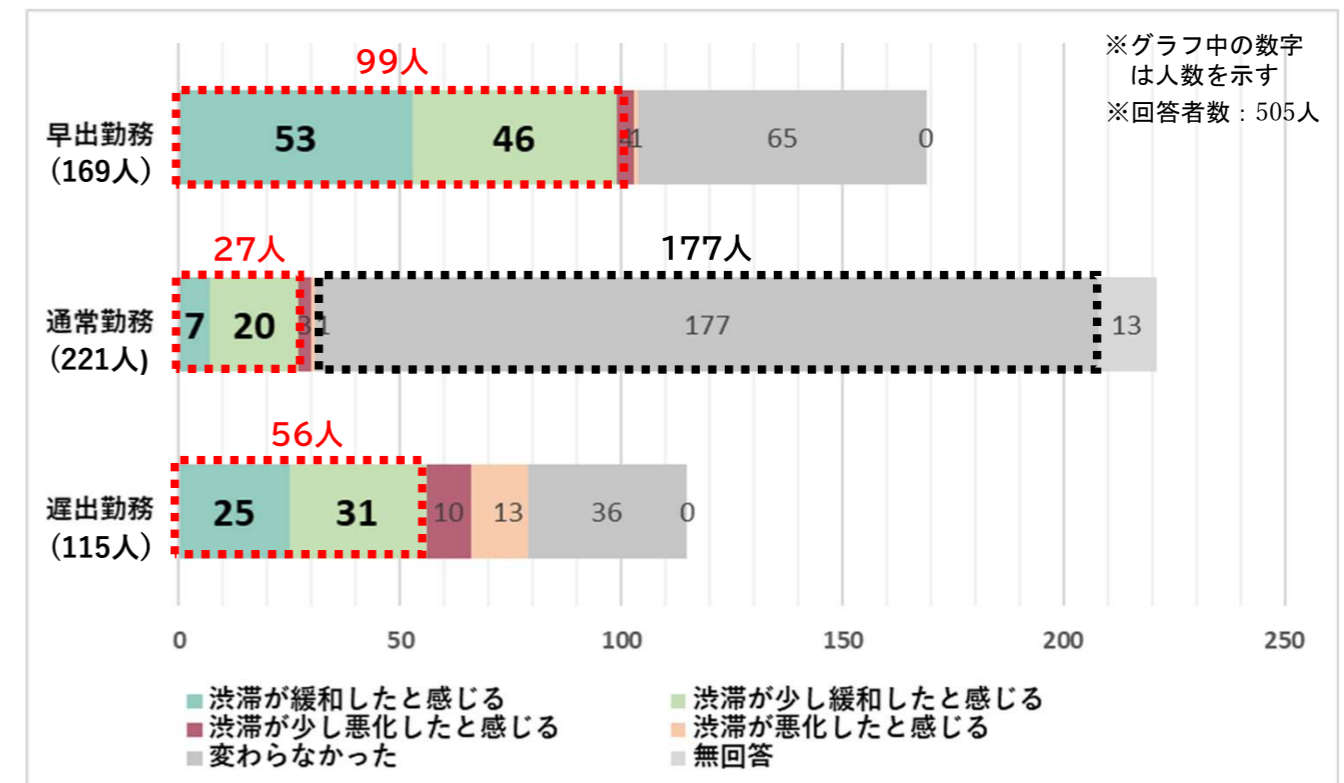
3. 試行運用の効果検証

- 通勤時間帯ピーク時（7：30～8：30）の交通量
→ 資料2ページを参照
- 通勤時間帯ピーク時（7：30～8：30）の所要時間
→ 資料3ページを参照

4. 試行運用に係る職員アンケート調査の結果

- 職員アンケート調査の結果について、早出勤務の約6割、遅出勤務の約5割が「渋滞が緩和したと感じる/少し緩和したと感じる」と回答した。また、通常勤務の約8割が「変わらなかった」と回答しているが、1割超は「渋滞が緩和したと感じる/少し緩和したと感じる」と回答した。

<調査結果>

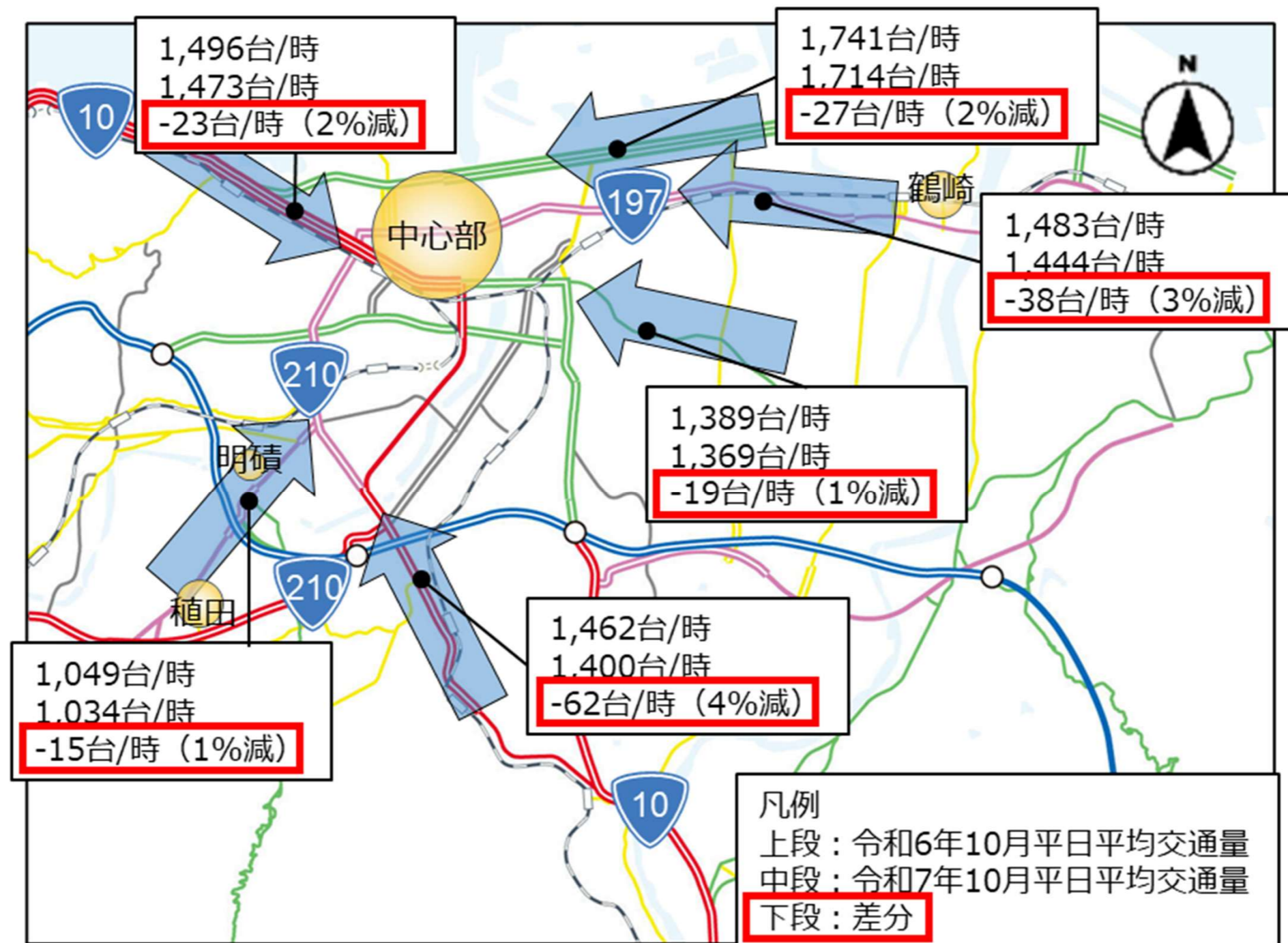


5. スケジュール案

令和8年10月 職員アンケート調査を実施

○ 通勤時間帯ピーク時 (7:30~8:30) の交通量について、各方面から大分市中心部へ向かう主な経路で交通量が減少した。

○通勤時間帯ピーク時 (7:30~8:30) の交通量

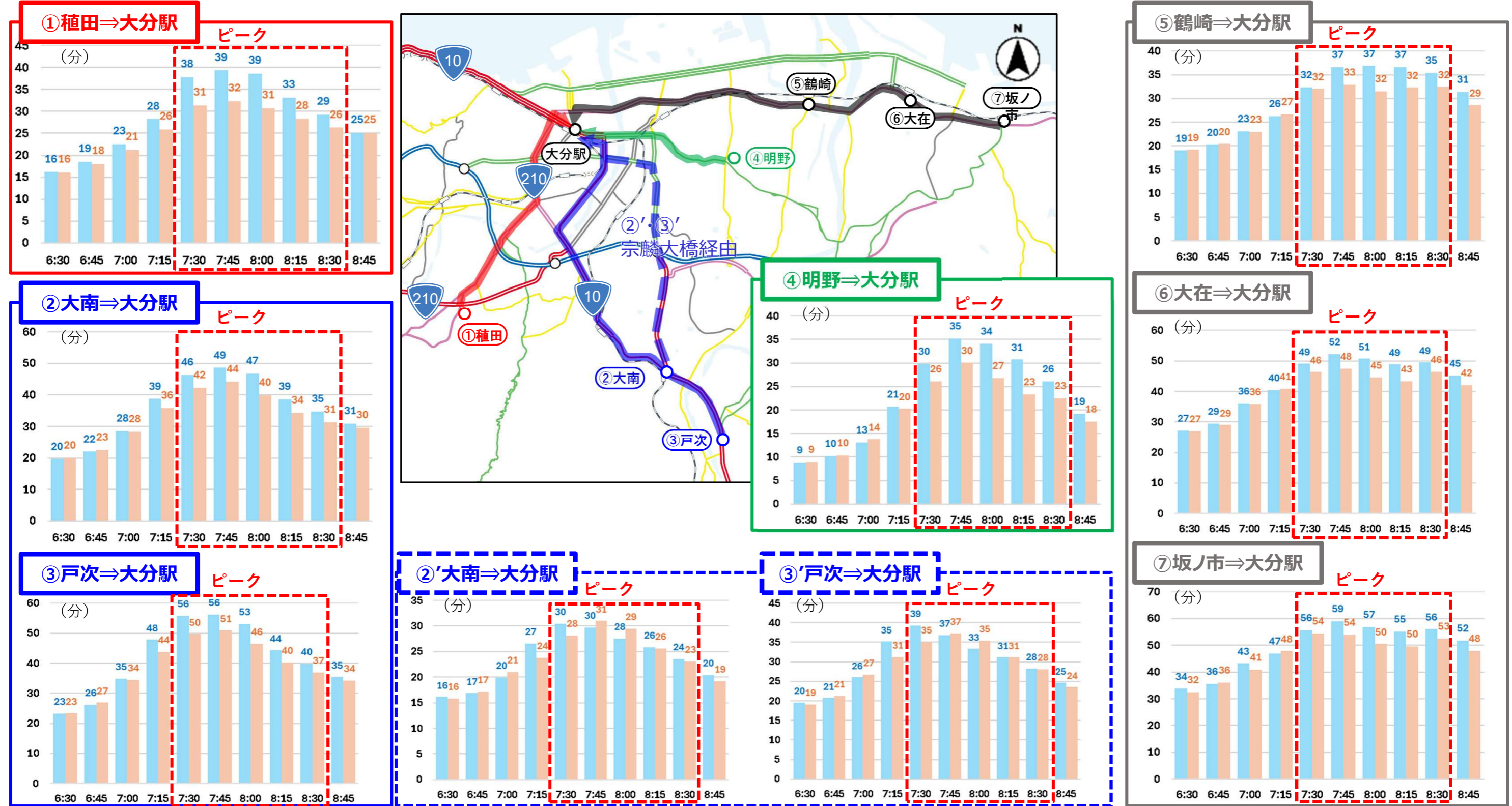


資料：県警トラカンデータ
(大分河川国道事務所提供データ)

時差通勤の効果検証 (2 / 2)

○ 通勤時間帯ピーク時の所要時間について、各方面から大分駅に向かう主な経路でピーク時の所要時間が、総じて短縮傾向であった。


○通勤時間帯ピーク時(7:30~8:30)の所要時間



令和6年10月平日平均所要時間 (青い棒) 令和7年10月平日平均所要時間 (オレンジ棒)

資料：ETC2.0プローブデータ (大分河川国道事務所提供データ)

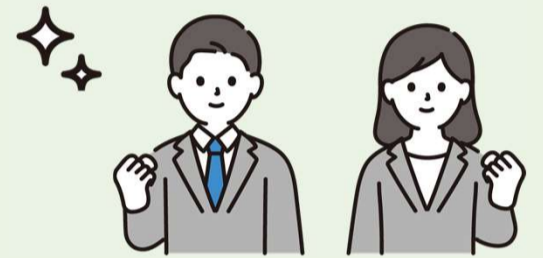
令和8年4月1日より

市内の交通渋滞の緩和
を目的とした 

職員による時差通勤

を行っています。

市民の皆様のご理解をお願いします。



《 3つの勤務区分で実施しています！ 》

※ 窓口等の開庁時間はこれまでとおりに変更ありません。

早出勤務

7時30分
出勤

16時15分
退勤

勤務時間

勤務時間

通常勤務

8時30分
出勤

17時15分
退勤

勤務時間

勤務時間

遅出勤務

9時30分
出勤

18時15分
退勤

勤務時間

勤務時間